

奇 方城中「命の大切さを学ぶ教室」
跡の連続を大切に思いやりある行動を

「命の大切さを学ぶ教室」が、8月30日に方城中で行われ、生徒171人が参加しました。交通事故により愛娘・陽菜さんを失った池田おかりさんが教壇に立ち、「奇跡の連続」である平穏な日常の有り難さを力説。「毎日を感じて、周囲の人の気持ちに寄り添った優しい行動をしてほしい」と涙ながらに訴えていました。



↑冒頭では、愛娘・陽菜さんの一生を絵本にした「そらがわらったよ」を朗読。

↓1枚の仮面にかかる制作期間は1か月程度。今回は、30点の仮面を展示。



対 高津麦展「化ける」
話で見つけた本当の自分を仮面で表現

田川市内で小学校教員をしながらアーティスト活動を行う高津麦さんの展示会「化ける」が、8月11日から20日までの間、「いいかね Palette」で開催されました。高津さんが自身の内面と深く対話しながら作った奇想天外な仮面を展示。「展示会を通して、仮面作りの楽しさと魅力が伝われば」と目を細めていました。

↓あいにくの雨にもかかわらず、運転者一人ひとりに笑顔で交通安全を呼びかけ。



赤 セーフティステーション
池「梨」で交通事故「無し」を呼びかけ

交通安全を呼びかける街頭啓発が、「秋の交通安全県民運動」期間中の9月22日にセブンイレブン赤池店前で行われました。田川警察署や町交通安全推進協議会、行政から参加した約20人が、事故なしにかけた「赤池梨」やチラシなどを配布。町内を走行するドライバー約60人に、安全運転への協力を訴えました。

現 高校生のための「自分研究」
役大学生と共に見つける理想の未来

FIWC九州・福智町キャンプ主催の「高校生のための自分研究」が、8月26日に中央公民館で開かれました。福智町に暮らす高校生7人が参加し、現役の大学生と一緒に過去を振り返りながら、将来の目標や夢について検討。参加者の西田咲笑さんは「将来のビジョンの立て方などを聞いてよかった」と振り返りました。



↑最後には神経衰弱をしながら楽しく今日の振り返りを行い、全員で共有。

↓大会後、⑥から指導者の田中美羽さんと内村嵐さんと共に黒土町長を表敬訪問した杏奈選手と翼選手。



熱 全日本ジュニアテコンドー選手権大会
意と努力で共に掴んだ栄光

玄武會筑豊支部所属の内村杏奈選手（金田義務6年）と内村翼選手（金田義務5年）が、7月29-30日開催の全日本ジュニアテコンドー選手権大会に出場。杏奈選手はプムセ種目（型）で優勝、翼選手はプムセ・キョルギ種目（組手）ともに3位という好成績を納めた2人は、「結果に慢心せず、さらに練習を重ねて強くなりたい」と今後の抱負を力強く語っていました。

現 赤池中「防災授業」
役アナから学ぶ災害の脅威と命を守る術

NHK北九州放送局の田中秀喜アナウンサーによる「防災授業」が、9月6日に赤池中で行われました。実体験や災害時のニュース映像など踏まえ、地震の怖さや命を守る方法について紹介した田中アナウンサー。約190人の生徒たちへ「自分から積極的に周囲へ避難を呼びかけ、被害を減らそう」と呼びかけていました。



↑驚きの声上がる程の大地震が起こる可能性を説明する田中アナウンサー。

↓寄せ植えは、植物のスペシャリストである「南クラモト花店（弁城）」が指導。



好 上野焼「多肉植物寄せ植え体験」
みの器と多肉植物のコラボに笑顔咲く

上野焼の植木鉢に多肉植物を寄せ植えするワークショップが、9月10日に上野焼陶芸館で開かれました。近年需要が高まる「多肉植物」と、デザイン性に優れた「上野焼」がコラボした今回の企画。参加者15人は、自分が選んだ鉢へ思い思いに多肉植物を寄せ植え、完成した逸品をにこやかに持ち帰っていました。